



# 万国外科学会(ISS/SIC) 日本支部ニュース

News of Japan Chapter of International Society of Surgery

発行：万国外科学会(ISS/SIC)日本支部  
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35  
慶應義塾大学医学部外科学教室  
TEL:03-5363-3802 FAX:03-3355-4707  
発行者：北野正剛  
編集責任：万国外科学会(ISS/SIC)日本支部事務局長  
和田則仁(慶應義塾大学医学部外科学教室)  
印 刷：株式会社 dig TEL:03-3551-3060  
年2回発行 1995年4月創刊

## 日本支部長就任のご挨拶

大分大学長  
ISS/SIC Councillor  
ISS/SIC 日本支部長  
**北野 正剛**



この度、昨年タイで開催された第46回WCSを持って理事を退任された北川雄光教授の後を受け、理事、並びに支部長を拝命しましたので、ご報告とご挨拶をさせて頂きます。8年間日本支部長として我が国における確固たる立場を牽引された北川雄光教授に敬意を表するとともに、その責の重さに緊張しているところです。申し上げるまでもなくISS/SICは外科の国際組織として最も長い歴史と伝統を誇っています。このことにつきましては、すでに幾度となく初代日本支部会長の故出月康夫先生以来、歴代の比企能樹先生が紹介され、また歴代の支部長、山川達郎先生により紹介されていますので、今回は最近の出来事で2017年の開催地がアルゼンチンのブエノスアイレスからイスラエルに変更された経緯をご報告したいと思います。

まず、ブエノスアイレスは日本を含むアジアからは遠方であるものの、南

アメリカの大勢や海外の若い外科医にとって参加しやすいという認識のもと、すでに決定されていました。その後、アルゼンチンの社会情勢の変化により開催を危ぶむ声があがり、急遽電話会議が持たれました。そこで出された意見は以下のよう�습니다。

経済面では報道等でわかるように財政破綻の恐れが現実のものとなりMacri大統領も短期間では経済回復することは見込めないと述べている。そのため、企業からの支援を得られるかは疑問である。米国銀行はブエノスアイレスでのISS計画は非常に危険だと考える。保険会社のLloydsは現在の状況下では保険をかけることを却下しており、もちろん保険なしでは会議開催は到底不可能である。A.Ferrerres現組織委員長は比較的楽観的であるものの、本部からは、事実として経済的なリスクだけでなく組織運営上のリスク、つまり大幅な計画の遅れが生じていることや、事務連絡の対応の不備など多くの不安要因があることが報告されました。そして、バーゼルでは今まで多くの学会が開催され、かつ観光地としても有名であること、スイスの外科学会総会などとの共同会議が同時に開催されることは難しいが、非常に強力な現地のサポートや参加者は見込めること、その他4箇所ほど候補地として上がったものの何れも難点があることが討議され、最終的にバーゼルが最終候補として残りました。正式にはその後3月8-10日に開催された理事会に付議され決定いたしました。以上、報告となりましたが、理事として日本支部長として、昨年Court of Honorにご就任の北島政樹先生初め、本会に長く貢献されたられた諸先輩にご意見を頂きながら、会員の皆様のお役に立てるよう努めて参る所存でございます。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 漢方薬とKono-S吻合

札幌東徳洲会病院 先端外科センター長  
ISDS Councillor  
**河野 透**



第43回万国外科学会(ISW)がオーストラリアのアデレードで2009年に開催され、大会長で万国外科学会(ISS/SIC)会長であったサール教授(メイヨークリニック)と北島教授からご指名を頂き、第1回国際漢方シンポジウム登壇の栄誉を頂きましたのが、万国外科学会参加の始まりでした。加えて、オーストラリアも初めてで、一般家庭の庭のユーカリの木に住んでいる天然のコアラに感動いたしました。司会は北島教授で、演者は私と島田教授(徳島大学)の二人、参加者の中には万国外科学会会长、元会長など重鎮が多く参加され、大変緊張したことを思い出します。質疑応答の中で、英国外科学会会长であったモーリス教授から「漢方薬は代替医療などではなく、西洋薬と同じ治療薬として認めよう」という貴重なコメントをいただき、これまでのエビデンス中心に進めてきた漢方薬の研究スタンスが間違っていないことを確信した一瞬でした。そのシンポジウムに参加していた前田教授(藤田保健衛生大学)と先生がアデレードで手に入れた貴重なワインで祝杯をあげる

なか、話題はいつしか下部消化管の臨床の話題へと広がり、当初、前田先生は私が漢方薬の研究だけしかしていない外科医という認識が強かったのですが、炎症性腸疾患、特にクロール病の手術を多く手がけていることに驚かれ、私が当時所属していた旭川医大で2003年9月にクロール病に特化した吻合法を開発していたことはご存じありませんでした。一般的に吻合部再発再狭窄が原因で術後5年間で25%、四人に一人は再手術になると今でもいわれますが、当時、開発から6年、69例施行して、再手術症例がゼロという予想を遥かに超える成績を収めつつありました。しかし、当時、未公表データであり、吻合法の名前も正式に決まっていませんでした。その夜、前田先生が開発した開肛器(E式)の命名の経緯を参考にして、S式吻合とすることになったのです。さらに、藤田保健衛生大学でもS式手術を採用していただけになりました。その1年後の2010年、炎症性腸疾患治療センターとして有名なシカゴ大学で漢方薬の講演会の機会を得て、これは千載一遇のチャンスと思い、S式を紹介したところ、シカゴ大学でも術式採用が決定され、後にシカゴ大学で一緒に手術をしていたフィケラ教授(現ワシントン大学)からS anastomosisは呼びにくいでKono-S anastomosis(通称kono)が良いのではと強く推奨され、恥ずかしさもありましたが、思い切ってKono-Sとし、Disease of the Colon & Rectumに最初の報告を行うことができました。後に、前述の万国外科学会から懇意とさせていただいた島田先生の徳島大学でも術式採用となるなど、万国外科学会のおかげで、日本だけでなく世界の著名なアカデミックサーチャンと繋がりがもてるようになり、数多くのチャンスをアシストしていただいていることを感謝しております。

### 会員動向

(2016年3月15日現在)

会員数 **372名**  
内 訳 正規会員 340名 (2015年新規会員8名)  
シニア会員 29名  
名誉会員 3名

### 支部活動報告 (2015年1月~12月)

2015.4.1	万国外科学会(ISS/SIC)日本支部ニュース第40号発行
2015.4.18	第39回万国外科学会(ISS/SIC)日本支部総会(於:名古屋 名古屋国際会議場)
2015.8	北島政樹先生ISS/SIC Cort of Honorに就任
2015.8	北野正剛先生ISS/SIC Councillor・日本支部長に就任
2015.8.23-27	WCS2015 Bangkok
8.24	Early Morning SessionにてYokohama Award受賞者表彰
2015.11.1	万国外科学会(ISS/SIC)日本支部ニュース第41号発行
2015.11.28	第40回万国外科学会(ISS/SIC)日本支部総会(於:福岡 福岡サンパレス)

## World Congress of Surgeryと私の人生

兵庫医科大学 救急・災害医学講座主任教授/  
救命救急センター長  
IASMEN Secretary/Treasurer

小谷 穂治

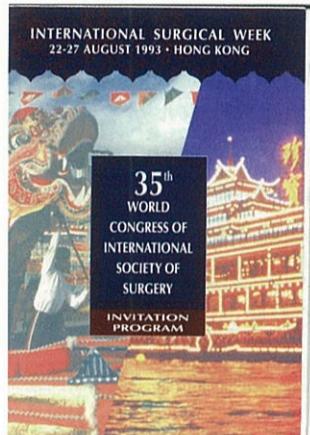


私が生涯で初めて発表した国際学会がWorld Congress of Surgery (WCS:当時はISW)でした。1993年8月22日～27日、香港です。Surgical Infection Society(SIS)のE Poster Sessionで、消化器術後の深在性真菌症の血清学的検査を幾つか組み合わせて診断精度を上げるというものでした。英語が苦手で緊張しましたが、会場の日本人の先生に英語で質問され、うまく聞き取れないので英語で聞き返すという場面を経験し、英語が世界の共通語であることを強く実感いたしました。

引き続き夏休みをとって、友人2人とフィリピンのアラオへ、これも生まれて初めての海外ダイビングに出かけました。ホテルでは、「知らない人が来たら撃て」と言わでライフル銃を渡され、昼はダイビングで食材を捕獲し、夜は火を焚いて地元のアルバイトの女子高校生たちと一緒にパンプーダンスを踊り続けるという特殊な経験をしましたが、彼女たちの英語は完璧なnative Englishであり、ここでも英語が世界の共通語であることを強く実感しました。WCSからフィリピンの10日間で、「地球上には日本とは異なる世界が広がっている」ことに感激し、「海外で生活し、仕事をし、友人を作りたい」と思うようになったのです。

それから、バブルが崩壊して大損し、世情に左右されないものに時間と労力を費やしたいと強く思いました。そして、WCSでの科学的な議論に触発され、サイエンスに大変興味を持ち、大学院で研究をして学位を取得した後に念願の英語圏へ留学しました。ボスのStephen F. Lowry先生(University of Medicine and Dentistry of New Jersey-Robert Wood Johnson Medical School)と右腕のSteve E. Calvano先生はともにSISのEditorial Boardであり、渡米後すぐに日本で行った研究成果でSIS学術集会へ応募したところ、競争率20倍のセッション(40/800)に選ばれ、生涯2回目の英語発表に挑みました。

今回はアメリカ人の同僚が発音指導をしてくれたこと、当時私の英語名をGeorgeにしていましたことから、会場の先生方にはnative speakerと思われたようで、容赦なく速い英語で質問され、私の回答は「I am, am, am …」でした。それでもArchives of Surgeryに推薦していただきましたが、初稿の校正原稿の質疑応答の欄の私の回答として「I am, am, am …」と書かれており、英語ができないことを恥



人生最初の英語発表のプログラム

ずかしく思いました。もちろん、編集局には削除をお願いしました。しかし、その後、何度もアメリカで発表する機会を得ることができ、2度目のSISではAwardを受賞しましたので、それなりに英語に慣れてきたようです。二人の子供が生まれ、アメリカでsurviveしなければならなかったこともあったと思います。

帰国後は、神戸大学の研究室のボスであった大柳治正先生(当時は近畿大学外科教授)がWCSの所属学会であるInternational Association for Surgical Metabolism and NutritionのVice Presidentであったことから、私も2009年からプログラム作成に関わり、最近は毎回指定演者として講演をさせていただき、2013年からEducational Committee、2015年からSecretary/Treasurerを拝命しています。このように、私の大の苦手であった「英語での発表」はWCSとともに進歩してきました。加えて、WCSのIASMEN Committeeでは日本人の東口高志先生(President elect)、福島亮治先生(Education Chair)とともに多くの国外の先生方と友人となり、また別のSocietyの先生方との合同パーティーもあり、WCSを中心とした世界のネットワークがひろがっています。私の外科医人生において、国際的な感覚と人脈を育ててくれた大切な学会です。



ISDS & IASMEN joint Dinner Party (2015年バンコク)  
他のSocietyとの交流も盛んです。

**World Congress of Surgery(WCS) 2017のお知らせ**

Basel, Switzerland  
13 - 17 August 2017



[www.wcs2017.org](http://www.wcs2017.org)

**47th World Congress of Surgery 2017**

次回のWCSは、2017年8月13日～17日スイスのバーゼルで開催されます。

**中外製薬** | Roche ロシュ グループ

**抗悪性腫瘍剤**  
劇薬、処方箋医薬品注)

**ゼロータ錠300**  
Xeloda® カペシタビン錠

注)注意—医師等の処方箋により使用すること  
⑧F.ホフマン-ラ・ロシュ社(スイス)登録商標

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関する使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。<http://www.chugai-pharm.co.jp>

(資料請求先) 製造販売元 中外製薬株式会社 〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

2015年11月作成

**善意と医療のかけ橋**  
善意の献血による血液製剤を通じ  
高い倫理観と使命感をもって人びとの健康に貢献します

**献血ヴェノグロブリンIH5%静注**  
0.5g/10mL 1g/20mL 2.5g/50mL 5g/100mL 10g/200mL  
(生物学的製剤基準 ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン) [献血]

**献血ポリグロブリンN5%静注**  
0.5g/10mL 2.5g/50mL 5g/100mL  
(生物学的製剤基準 pH4処理酸性人免疫グロブリン) [献血]

**献血ポリグロブリンN10%静注**  
5g/50mL 10g/100mL  
(生物学的製剤基準 pH4処理酸性人免疫グロブリン) [献血]

**ノイアード®静注用 500単位・1500単位**  
4g/20mL 12.5g/250mL [献血]  
(生物学的製剤基準 乾燥濃縮人アントロビン) [献血]

**献血アルブミン5%静注** 5g/100mL 12.5g/250mL [JB]  
**献血アルブミン20%静注** 4g/20mL 10g/50mL [JB]  
**献血アルブミン25%静注** 5g/20mL 12.5g/50mL [ベネシス]  
**赤十字アルブミン25%静注** 12.5g/50mL  
(生物学的製剤基準 人血清アルブミン) [献血]

**クロスエイトMC静注用** 250mg/500mg 1000mg/2000mg  
(生物学的製剤基準 乾燥濃縮人血清凝固第Ⅷ因子) [献血]

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 一般社団法人 JB 日本血液製剤機構  
2016年3月作成

[資料請求先] 日本血液製剤機構 くすり相談室 〒105-6107 東京都港区浜松町2-4-1  
医療関係者向け製品情報サイト <http://www.jbpo.or.jp/med/di/>

**プロトンポンプ・インヒビター エソメプラゾルマグネシウム水和物カプセル**

**ネキシウム®カプセル 10mg 20mg**  
薬価基準収載

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、効能・効果に関する使用上の注意、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

販売元(資料請求先) 第一三共株式会社 東京都中央区日本橋本町3-5-1

製造販売元(資料請求先) アストラゼネカ株式会社 大阪市北区大深町3番1号  
0120-189-115 (問い合わせフリーダイヤル)  
メディカルインフォメーションセンター

2015年1月作成

## 万国外科学会と家族

慶應義塾大学医学部外科学専任講師  
ISS/SIC 日本支部事務局長

和田 則仁



2007年8月にモントリオールで開催されたISW 2007において山川達郎先生がISS/SICのExecutive CommitteeのCouncillorに就任されたことを受け、日本支部National Delegateが北川雄光教授に引き継がれました。これに伴い日本支部事務局が帝京大学医学部附属溝口病院外科から慶應義塾大学医学部外科に移り、私が事務局長を拝命することとなり、早いもので8年余りになります。その間、アデレード、横浜、ヘルシンキ、バンコクと4回のWCS(旧ISW)が行われ、様々な出来事が走馬灯のように思い出されます。

私事ですが外科医として初めて国際学会で発表したのは、2000年5月、米国サンディエゴで開催されたDDWでした。故・大谷吉秀先生にご指導いただいた学位の仕事の一部を国際学会の場で発表できたことは、よい経験となりました。それとともに、妻と当時まだ2歳だった娘を連れて動物園やシーワールドに行ったことは、娘は何も覚えていないようですが、家族にとってとてもいい思い出となっています。次に家族連れで行った国際学会が2007年のモントリオールのISWでした。学会のSocial Eventにも家族と一緒に参加したこと、当時9歳の娘は皆さんにかわいがつてもらい、とても楽しい思い出となったようです。世界各国の外科の先生との交流は娘にとっても刺激的だったのではないかと思います。その後、学校の行事や塾などにより国際学会に連れていく機会はありませんでしたが、18歳となった娘は、この春無事高校を卒業し医学部に進学することになりました。外科の道に進むかどうかはさておき、医学部を志した動機のひとつに、このような国際的な外科医の交流を自らの眼で見てきたことも影響しているのではないかと思っています。

WCSは通常、夏休み中に開催される学会であります。小さいお子さんをお持ちの会員の先生方にとっては家族連れで参加する絶好の機会になるのではないかと思

います。多少お金はかかりますがAccompanying Personとして登録した上で学会のSocial Eventにご参加いただければ、きっとかけがえのない思い出になるのではないかと思います。Yokohama Awardも若手支援の一つとして根付いてまいりましたが、万国外科学会を通して若い先生方が国際学会に参加する楽しみを見つけていただけるよう事務局として最大限応援していきたいと考えております。引き続き、万国外科学会日本支部会員の先生方に置かれましてはご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第41回万国外科学会(2007年、モントリオール)のsocial program "The Laurentian Mountains"にて

ENSEAL<sup>®</sup> G2  
Articulating

POS PLUS<sup>®</sup>  
Sutureless Skin Stapler  
COATED VICRYL PLUS<sup>®</sup>  
ブレイドに塗布された

EES  
LINEAR CUTTER

Generator  
GEN11

HARMONIC  
FOCUS<sup>®</sup>  
Long Curved Shears

DERMABOND<sup>®</sup>  
ADVANCED  
TOPICAL SKIN ADHESIVE

Shaping the future of surgery

ENDOCUT<sup>®</sup>  
XCEL  
OPTIVIEW<sup>®</sup>

SURGICEL<sup>®</sup>  
Absorbable Hemostat

Powered  
ECHELON FLEX<sup>®</sup>  
GST System

PROKIMATE<sup>®</sup>  
ILS

HARMONIC  
ACE<sup>®</sup>+

blake<sup>®</sup>  
SILICONE GRABS  
J-VAC<sup>®</sup>  
SUCTION RESERVOIR

ETHICON

NOVARTIS  
ONCOLOGY

抗悪性腫瘍剤(チロシンキナーゼインヒビター) 薬価基準収載

# グリベック<sup>®</sup> 錠100mg

劇薬 処方箋医薬品

注意—医師等の処方箋により使用すること

glivec<sup>®</sup> Tablets 100mg イマチニブメシリ酸塩錠

効能・効果・用法・用量・警告・禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売  
ノバルティス ファーマ株式会社  
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

〈資料請求先〉  
0120-003-293  
受付時間：月～金 9:00～17:30  
(祝祭日及び当社休日を除く)  
www.novartis.co.jp

2015年2月作成

「効能・効果」、「効能・効果に関する注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関する注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗型制吐剤 効薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準収載

**アロキシ<sup>®</sup> 静注 0.75mg** **アロキシ<sup>®</sup>点滴静注バッグ 0.75mg**  
**Aloxi I.V. injection 0.75mg** **Aloxi I.V. infusion bag 0.75mg**

パロセトロン塩酸塩注射剤

製造販売元 TAIHO 大鵬薬品工業株式会社  
資料請求先 〒101-8444 東京都千代田区神田駿河町1-27  
TEL:0120-20-4527 FAX:03-3293-2451  
http://www.taiho.co.jp/

提携先 HELSINKI スイス

2016年3月作成

短時間作用型β<sub>1</sub>選択的遮断剤

劇薬、処方箋医薬品

# オニアクト<sup>®</sup>点滴静注用 50mg, 150mg

注射用ランジオロール塩酸塩 ONOACT<sup>®</sup> 薬価基準収載

●効能・効果・用法・用量・禁忌を含む使用上の注意等、  
詳細は製品添付文書をご参照ください。

資料請求先 小野薬品工業株式会社  
〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

2015年6月作成

## 第40回万国外科学会(ISS/SIC)日本支部総会 議事録

2015年11月28日(土曜日)午前7:15~8:00  
於: 福岡サンパレス 2F 平安

出席者: 石川秀樹、井本滋、海野倫明、遠藤格、大友康裕、岡本高宏、掛地吉弘、片田夏也、北川雄光、北野正剛、國崎主税、桑野博行、高見博、田尻孝、田中淳一、丹黒章、寺島雅典、長田拓哉、中村清吾、中村隆俊、夏越祥次、野村幸世、橋爪誠、馬場秀夫、東口高志、平田公一、藤村隆、堀口明彦、前田耕太郎、松原久裕、溝端康光、森俊幸、守瀬善一、矢永勝彦、山下浩二、若井俊文、和田則仁  
(敬称略、五十音順、計37名) (事務局: 奥田京子 佐野富貴)

### 1. 開会の挨拶 北野正剛日本支部長

### 2. 前回議事録の確認

### 3. 事務局からの報告 支部活動報告

### 4. ISS/SIC 理事会報告

北川雄光先生: 学会名を ISS/SIC から World Society of Surgery (世界外科学会) に変更し、日本支部ニュースレターの名称も変更するとお伝えしたが、ISS/SIC は 100 年以上の歴史があり非常に伝統的な名称であることをふまえ、ISS/SIC のままとし、日本でも万国外科学会の名称を残す。ただし、会議に関しては本年より International Surgical Week (ISW) から World Congress of Surgery (WCS) に変更。次回 2017 年は、ブエノスアイレスで 8 月 27 日 ~ 31 日まで開催予定。会長はシカゴ大学の Marco G. Patti。次々回 2019 年はポーランドで開催予定。ISDS 会長は今野弘之先生、IEASMEN 会長は東口高志先生に決定。

### 5. World Congress of Surgery (WCS) 2015 バンコク報告

北川雄光先生: 学会直前に爆破テロが発生。1 回目は、学会場の目の前のエラワン廟、2 回目は観光客が最も集まる船着場で起こった。急遽、緊急会議が開かれた。2003 年にタイで開催予定だった ISS/SIC が SIRS の影響で中止になった経緯もあり、開催の決定が下った。日本支部としては、参加・欠席は各大学のご判断に任せた。Yokohama Award の受賞者には、参加しなくとも受賞は取り消さないと伝え、安全のために欠席でも仕方ないと判断。また、Japan Night は中止。会期中に本学会事務局長の Jean-Claude Givel 先生が急逝された。急遽、緊急に理事会を招集し、前事務局長の Felix Harder が顧問として復帰し、34 年間 Secretary を務め今年 12 月末で引退予定の Victor Bertschi は、しばらく延長。バンコク開催では、先生方に本当にご心配をお掛けしたが、ご支援いただいたことに御礼申し上げたい。

北野正剛日本支部長: 私は、大学の別の案件もあった為、参加した。現地は厳重な警備で比較的安全だったので安心できた。次回ブエノスアイレスは、またいろいろな状況があると思うが、是非皆様に参加してほしい。

### 6. Integrated Society について

和田日本支部事務局長: 今年 Constitution が大きく変わり、名称が Collective Member Societies になった。

IAES 高見博先生: Secretary-Treasurer が変わり、今回カルガリーの Janice L. Pasieka になった。日本の Councillor が一人交替になり、愛知医科大学の今井常夫教授が就任された。

IATSIC 溝端康光先生: Definitive Surgical Trauma Care (DSTC) Course を開催しているが、そのマニュアル本が第 3 版から第 4 版に改訂された。現在、日本の IATSIC メンバーで、改訂版の翻訳作業を続けており来年中には発刊したい。また、外傷診療においては麻酔科の関与も必要な為、DATC (Definitive Anesthesia Trauma Care) として、麻酔科医を対象にしたコースが開始されている。IATSIC メンバーの人数が発表され、日本は現在 2 番目。もう少し会員を増やせば一番メジャーな国になれる為、今後も頑張っていこうとメンバー同士で話を終えた。

IASMEN 東口高志先生: 小さな会の為、何とか会員を増やしたい。大柳治正先生の後、2 年間 Vice President を務め、この度 President-elect を拝命した。ブエノスアイレスは遠いが日本から沢山の人を引っ張っていきポーランドにも繋げたい。本日ご出席の平田公一先生の後、日本静脈経腸学会の理事長を拝命したが、こちらは会員が現在 Active Member で 2 万人、5 千名が医師で、うち 3 千名が外科医。この 3 千名の外科医に IASMEN と ISS/SIC の良さを解ってもらえるよう努力したい。

BSI 中村清吾先生: バンコクでの学会は、香港・中国が国として渡航禁止になり、かなり参加者が減少したが、従来通りのプログラムを残りのメンバーで実施。BSI は、どちらかというとアジアとヨーロッパが中心で、次回開催地のブエノスアイレスなど南米系は、別の学会が国際的に活動。従来通り発展途上国の Breast Cancer に興味のある若手の指導として、超音波あるいは Oncoplastic Surgery について教育構想を併設して行うことになった。次期会長は、マレーシアの Cheng Har Yip。

ISDS 北川雄光先生: 会長は Tonia Fadok から Alberto R. Ferreres に交替。日本の Councillor は、これまで北野正剛先生、渡邊昌彦先生、若林剛先生、そして私が Vice President だったが、今回 President-elect として今野弘之先生、Program Committee Member として片井均先生・島田光生先生が決まった。

### 7. 機関誌 (WJS) について

和田日本支部事務局長: 片井均先生が、本日やむを得ず欠席のため資料をお預りしている。Accept が 25.88%、Reject が 74.12%。Submissions は増加。Impact Factor は、最新の 2014 年で 2.642。日本からの採択率は 25% で、Impact Factor も上昇していると片井先生から伺っている。

### 8. その他

北野日本支部長: 先程の World Congress of Surgery という名称の件だが、例えば私が会長である World Congress of Endoscopic Surgery は、主体が International Federation of Societies of Endoscopic Surgeons で、そういった例もある。これまでの長い歴史については、北川前支部長からお話をあったように、ISS/SIC のまま変更しないことになったので、今後ともよろしくお願いしたい。

### 9. 次回支部総会日程について

次回の総会は恒例どおり日本外科学会最終日早朝を予定している。

## ISS/SIC 日本支部 2015 年度決算

2015 年度収支決算書 (2015 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日)

ISS/SIC  
単位: 円

日本円の部		備考	
収入の部	予算額	決算額	
会費	1,066,000	1,141,522	8200ユーロ
広告掲載料	700,000	650,000	
寄付	0	0	
雑収入	0	1,583	
当期合計	1,766,000	1,793,105	
前年度繰越金	10,194,885	10,194,885	
収入合計	11,960,885	11,987,990	
II支出の部			
会議費	380,000	273,512	支部総会開催(春・秋)
通信費	150,000	146,615	
印刷費	500,000	400,360	支部ニュース 40 号・41 号
文具費	10,000	16,768	
交通費	120,000	139,734	
人件費	480,000	480,000	
雑費	26,000	17,860	
予備費	100,000	0	
Yokohama Award 賞金	500,000	500,000	10 万円×5 名
支出合計	2,266,000	1,974,849	
収支残高	9,694,885	10,013,141	(次年度繰越金)

単位: ユーロ

ユーロの部		備考	
収入の部	予算額	決算額	
会費	9,500,00	8,716,80	
利息	0	0.71	
前年度繰越金	7,203,41	7,203,41	
収入合計	16,703,41	15,920,92	
II支出の部			
日本円へ預替	8,200,00	8,200,00	
スイス本部寄付	1,300,00	1,300,00	
支出合計	9,500,00	9,500,00	
次年度繰越金	7,203,41	6,420,92	

残高 日本円 10,013,141 円 (通帳残高 9,995,069 円 + 現金 18,072 円)

ユーロ 6,420.92 ユーロ (通帳残高 6,420.92 ユーロ)

ISS/SIC 万国外科学会 日本支部

2016年 2 月 3 日 監事 田流孝

2016年 1 月 26 日 監事 田中雅夫



## ISS/SIC 日本支部 2016 年度予算案

2016 年度 予算案 (2016 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日)

ISS/SIC

日本円の部

日本円の部		備考
収入の部	予算額	
ユーロから預替	800,000	6,420.92 ユーロ 1 ユーロ=124 円で計算
US ドルから預替	250,000	2,270 US ドル 1 ドル=112 円で計算
広告掲載料	700,000	
寄付	0	
雑収入	0	
利息	0	
当期合計	1,750,000	
前年度繰越金	10,013,141	
収入合計	11,763,141	
支出の部		
会議費	400,000	支部総会 2 回分
通信費	150,000	
印刷費	450,000	支部ニュース 2 回発行分
文具費	20,000	
交通費	90,000	
人件費	520,000	
雑費	20,000	
予備費	100,000	
支出合計	1,750,000	
収支残高(次年度繰越金)	10,013,141	

ユーロの部

ユーロの部		備考
収入の部	予算額	
会費	0.00	
利息	0.00	
繰越金	6,420.92	
収入合計	6,420.92	
支出の部		
日本円へ預替	6,420.92	
スイス本部寄付	0.00	
支出合計	6,420.92	
次年度繰越金	0.00	

単位: ユーロ

US ドルの部		備考
収入の部	予算額	
会費	7,600.00	
利息	0.00	
繰越金	0.00	
収入合計	7,600.00	
支出の部		
日本円へ預替	2,270.00	
スイス本部寄付	1,500.00	
支出合計	3,770.00	
次年度繰越金	3,830.00	

以上(文責 和田則仁)